

文部科学省科学研究費 学術変革領域研究

「コホート・生体試料支援プラットフォーム (CoBiA)」による研究支援

J-MICC研究では、コホート・横断研究のテーマを募集しています。
J-MICC研究の疫学調査データとゲノムデータを活用して研究してみませんか？

J-MICC研究は2005年にベースライン調査をはじめました。

2014年3月末までに全国の35～69歳の男女、約10万名が参加しています。

研究テーマ公募 1

NEW

追跡データを用いたコホート研究、縦断研究

～利用可能なデータ～

- 生活習慣の自記式調査票データ、推定栄養素摂取量データ、健診データ
- 追跡調査データ (死亡・がん罹患)
 - ・ 平均追跡期間－死亡追跡 約 10 年、がん罹患追跡 約 8 年
 - ・ 死亡－約 5,700 例、がん罹患－約 8,500 例*
 - ・ 分析可能な研究対象者－死亡追跡データセット：約 92,000 名
がん罹患データセット：約 78,000 名
(GWAS用タイピングデータ付：約 14,000 名)
- 第二次調査データ (ベースライン調査から約 5 年後の再調査データ)
 - ・ 分析可能な研究対象者－約 54,000 名

*「がん登録等の推進に関する法律」にもとづいて情報提供を受け、独自に集計した結果です
「がん登録等の推進に関する法律」にもとづいて認められた場合に限り、利用可能です

NEWS

<研究成果の一例>

不規則な睡眠が死亡リスクを高めることを見出しました(図1)！
この関連は睡眠時間に関わらず認められました(図2)！

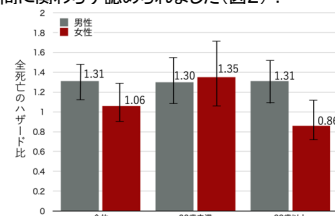


図1. 規則的な睡眠に対する不規則睡眠の全死ハザード比 (男女別)

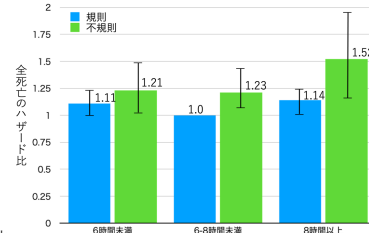


図2. 6-8時間未満の規則的な睡眠に対する各種睡眠時間群の全死ハザード比

Omichi C, et al. *Sleep Health* 2022; 8: 678-683.

研究テーマ公募 2

ゲノムデータを用いた横断研究:ゲノムワイド関連解析(GWAS)、特定SNPの解析など

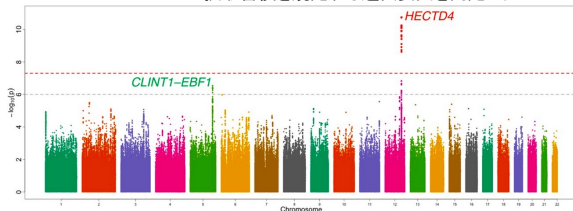
～利用可能なデータ～

- 生活習慣の自記式調査票データ、推定栄養素摂取量データ、健診データ
- ゲノムデータ (GWAS用データ)
 - 参加者 1 人あたり 約 50 万 SNPs タイピング済
 - 約 600 万 SNPs インピュテーション済
 - ・ 特定SNPのみを抽出して利用することも可能
 - ・ 分析可能な研究対象者－約 43,000 名

NEWS

<研究成果の一例>

GWASによってコーヒー摂取習慣を規定する遺伝要因を同定しました！



Nakagawa-Senda H, et al. *Sci Rep* 2018; 8: 1493.

研究テーマ公募 3

ベースラインデータを用いた横断研究

～利用可能なデータ～

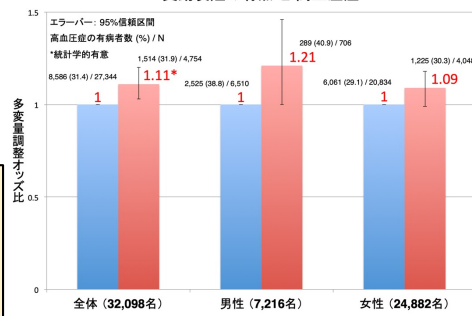
- 生活習慣の自記式調査票データ
- 推定栄養素摂取量データ、健診データ
 - ・ 分析可能な研究対象者－約 92,000 名
 - ・ 採択された研究者に解析用データセットを直接提供！



NEWS

<研究成果の一例>

非喫煙者の受動喫煙の有無が高血圧症と関連することを見出しました！
受動喫煙の有無と高血圧症



Tamura T, et al. *Medicine (Baltimore)* 2018; 97: e13241.

【研究支援URL】 <https://square.umin.ac.jp/cohort/about/overview.html>

【問い合わせ先】 どうぞお気軽にお問い合わせください。

J-MICC研究中央事務局 (名古屋大学大学院医学系研究科予防医学分野内)

Tel: 052-744-2132 Email: jmicc@med.nagoya-u.ac.jp